

昨年 12 月に設定された 2 か所の汚染検査場所（綾部市・南丹市）は撤回を！

高浜原発から 30 km 圏内にあり、避難住民・バス運転手等の安全は確保できない場所が狭すぎて、駐車スペースも確保できない

2016. 1. 19 避難計画を案ずる関西連絡会

昨年 12 月 16 日、内閣府・福井県・京都府等は避難計画を含む「高浜地域の緊急時対応」^{※1}を公表し、「具体的で合理的」とした。この「高浜地域の緊急時対応」では、福井県から兵庫県に避難する際に、汚染検査・除染を行う汚染検査場所（避難退域時検査場所）2 か所が初めて示された。綾部市の「綾部パーキングエリア及びあやべ球場」と、南丹市の「美山長谷運動広場」だ。 ※1 http://www8.cao.go.jp/genshiryoku_bousai/keikaku/02_fukui.html

私たちは、1 月 9 日と 13 日に現地を視察した。この 2 か所で汚染検査を実施するのは不可能であり、撤回する以外にはないと考える。原発事故時の避難にとって汚染検査場所が不適であれば、避難計画の実効性は全くないことになる。そのため、高浜原発 3・4 号の再稼働は中止すべきだ。以下、視察の報告を含めて、問題点を紹介する。

【 1 】 昨年 12 月に新たに追加された 2 か所の汚染検査場所とは

「高浜地域の緊急時対応」116 頁では、下記の★印（引用者）2 か所が汚染検査場所の候補地として追加された。

- 一つは、綾部市にある、舞鶴若狭自動車道の「綾部 P A（あやべ球場）[※]」と書かれ、注として「※綾部 P A を経由」となっている。綾部市の話では、綾部 P A とあやべ球場の駐車場を使用するとのことだ。
- もう一つは、南丹市にある「美山長谷運動広場」となっている。



【2】二つの汚染検査場所に共通する問題点

(1) 30 km圏内で汚染検査・除染しても、再び汚染・被ばくの可能性が高い

2つの汚染検査場所は、いずれも高浜原発から30 km圏内にある。綾部PA・あやべ球場駐車場は約25 km、美山長谷運動広場は約27 km。そのため、福井からの避難住民に汚染検査・除染をしても、兵庫県の避難所に到達するまでに、また汚染・被ばくする可能性が高い。これでは、避難住民の安全の確保も、避難先に汚染を拡大しないことも不可能となる。

(2) 兵庫のバス運転手や職員が避難区域30 km圏内で作業することになる

汚染検査終了後は、避難先兵庫県のバスで避難所に向かうことになる。この2か所の場合、兵庫県のバスが避難区域である30 km圏内に入ることになる。バス運転手や誘導等に当たる兵庫県・市町の職員の被ばくも高くなる。

(3) 場所が狭すぎる

以下に詳しく示すように、避難者の数・自家用車の数と比べて、場所が狭すぎる。綾部市は、福井からの自家用車をどこに保管するのかが決まっていないと話している。

(4) 除染の設備や汚染水処理をどうするのが示されていない

除染に必要な設備や、それによって出てくる汚染水の処理をどうするのが等も示されていない。とりわけ、綾部PAとあやべ球場には屋内施設はなく、住民の汚染検査は不可能。

(5) 福井県の職員がいち早く到着して汚染検査・除染の準備ができるのか

汚染検査・除染を担当するのは福井県の職員となっている。避難者より早く到着してスクリーニング等の準備をしなければならない。その間に渋滞はさけられず、また避難してきた住民は長時間待たされることになり、早期の避難は不可能で、さらに被ばくすることになる。

【3】「綾部パーキングエリア（PA）及びあやべ球場駐車場」

◆綾部PA

アクセス：高速道路の舞鶴若狭自動車道上り線の綾部PA。あやべ球場はPA南に隣接している。PA近辺の本線は2車線となっている。



PAは無人でトイレと自動販売機のみが設置されている。検査を行う予定の駐車場は、大型車9台、小型車22台という狭さ。

こんな狭い場所では検査はとても無理。



◆あやべ球場

綾部PA駐車場の一角にある高さ1m、幅5m程のゲート（普段は南京錠で施錠）を開けると、すぐ前があやべ球場。PAの南正面に地続きになっており、20mほどの1.5車線程のアスファルト舗装路で繋がっている。さらに体育館、武道館、グラウンドが隣接しそれぞれに駐車場がある。

ゲートの鍵は、福井県か国がNEXCO西日本に連絡して開けてもらうのか等示されていない。



あやべ球場は、綾部総合運動公園の一角にある。大きな体育館、球技グラウンドが隣接している。[あやべ球場] <http://www.city.ayabe.lg.jp/shisetsu/sports/02.html>
球場周囲も併せて、300台程度の駐車しかできない。



- ・汚染検査場所として使用するのは、駐車場のみ。球場のグラウンド等は使用しないことになっていると綾部市は話している。
- ・震度 5 弱の地震が起きると、高速道の点検完了まで道路閉鎖となる。そのようなことは想定しているのか。
- ・ここは福井県の中継所で、福井県職員が対応することになっている。どこから何名がどれくらいの時間で到着し、汚染検査・除染が開始出来ると想定しているのか。福井市や敦賀市から職員を派遣するとなると、相当の時間がかかる。

★避難車の想定数 3,000 台の駐車スペースはない。どこで検査できるのか

12 月 16 日に公表された「高浜地域の緊急時対応」に示されている避難ルートから想定すると、この綾部市の汚染検査場所の使用は以下のようになる。

UPZ の高浜町 2,800 人、おおい町の一部 6,000 人、合計 8,800 人が避難する場合に使用することになる。

自家用車約 3,000 台(一台に 3 人が乗り合わせた場合)、駐車面積は少なくとも 30,000 ㎡が必要となる(通路等を一切考慮しない場合。これを考慮すれば倍のスペース)。

甲子園グラウンド (13,000 ㎡) 2 個分以上に相当する。

先に述べたように、綾部 PA は数十台、あやべ球場の駐車場は約 300 台程度で、到底スペースはたりない。

◆渋滞は避けられない

- ・数百台、数千台の車両が出入りすることになる高速道路のゲートは、一カ所のみでの対面通行となり、狭いゲートがボトルネックになる。
- ・避難道路となっている舞鶴若狭自動車道は、福井県高浜町・おおい町方面からと、京都府舞鶴市方面からの避難車が混在して南に向かって来ることになっている。どの様に誘導区分するのか。
- ・本線は一応二車線となっているが、汚染検査所への車両誘導が停滞すると高速道路本線が停滞する。
- ・車間距離 10m で 3,000 台が並ぶと 30km の距離となる。
- ・2014 年 8 月 31 日に福井県が実施した防災訓練では、一人のスクリーニングに 4～5 分を要している。1 時間に 12 名しか対応できない。対応窓口が 10 でも 120 名/時にしかない。一体何時間かかると想定しているのか。
- ・スクリーニングを待つ避難車両はあふれかえってくる。綾部総合運動公園全ての駐車場を併せても 300 台程度で、舞鶴道 PA への出入り口は 1 カ所のみで駐車場が足りない場合や、誘導に手間取ると、自動車道が渋滞し、舞鶴市から避難してくる車両も身動きできなくなる。

※2015 年の鬼怒川水害では、一週間後の連休にボランティアが 1,300 名到着した際に受付だけで 2 時間 30 分を要している。500 台収容の駐車場が隣接して、数十名の誘導係が居てもこれだけの時間を必要としていた。

◆避難してきた福井県住民の自家用車の保管場所は決まっていない

福井県は基本的に自家用車で避難することになっている。検査・除染終了後に兵庫のバスに乗り換えて、避難所に向かう。福井県から避難した人の自家用車は保管することになっている。この数千台の車を保管する場所について、綾部市はまだ決まっていないと話している。これでは、汚染検査場所が決まった等とは言えない。

◆30 km圏内まで避難先兵庫県のバスが来るのか、運転手等の安全は確保されるのか

避難先兵庫のバス運転手や市町職員が避難区域 30 km圏内に入ることになり、被ばくの可能性は高くなる。バス運転手等の了解は得ているのか。

関西広域連合は、バス運転手等の被ばくの目安は1ミリシーベルトと決めているが、これを守ることは可能なのか。

【4】「美山長谷運動広場」

◆アクセス

小浜市から京都・丹波方面に向かう国道162号線から、綾部市方面に向かう府道12号に入り、国道27号線に向かう途中にある。大野ダムの東側、由良川に沿って立地している。

◆美山長谷運動広場 京都府南丹市美山町長谷

<http://spogaku.pref.kyoto.lg.jp/institution/823.html>

管理棟駐車場は20台しかない

汚染検査・除染を「運動広場」のどこでやるのかははっきりしていない。

綾部市の場合は、野球場グラウンドは使用しないと話しているが、南丹市の場合はどうなるのか。

運動広場全体で50,000 m²の敷地

うち野球場グラウンドは10,500 m²、隣接する400m陸上競技場の面積は約20,000 m²

他に緑地、テニスコート、ゲートボール場がある。



★避難車の想定数12,300台の駐車場スペースはない。どこで検査できるのか

12月16日に公表された「高浜地域の緊急時対応」に示されている避難ルートから想定すると、この南丹市の汚染検査場所の使用は以下のようになる。

小浜市から30,000人、若狭町から4,000人、おおい町名田庄地区から2,500人
合計約37,000人が避難する場合に使用することになる。

福井からは自家用車での避難が基本になっている。

自家用車約 12,300 台(一台に 3 人が乗り合わせた場合)が押し寄せる。

駐車面積は少なくとも 123,000 m²が必要となる(通路等を一切考慮しない場合)。

甲子園グラウンド (13,000 m²) 10 個分に相当する。

先に述べたように、運動広場全体の面積が 50,000 m²なので、到底足りない。美山長谷運動広場の管理棟駐車場は 20 台分しかない。仮に、野球場や陸上競技場を駐車場として使ったとしても、通路などを考慮しない場合で 3,000 台、通路を考慮すれば 1,500 台分しかない。どちらにしても、これだけ多くの人・車の検査を行うことは不可能だ。

◆渋滞は避けられない

- ・車間距離 10m で 12,300 台が並ぶと 123km の距離となる。小浜市住民約 3 万人・1 万台の車だけで 100 km の数珠つなぎとなり渋滞は避けられない。1 台が故障すれば身動きできなくなる。美山長谷運動広場に到着できても、汚染検査・除染で大渋滞となる。
- ・1 万台以上の自家用車は乗り捨てて、兵庫県が用意するバスに乗り換えることになっているが、自家用車の保管場所も示されていない。

綾部 P A ・あやべ球場駐車場のところでふれたように、兵庫のバス運転手等の被ばく問題等も同様に存在する。

【5】 2 か所の汚染検査場所は撤回すべき。

避難計画には実効性はなく、高浜原発 3 ・ 4 号の再稼働は許されない

関電は 1 月末に高浜原発 3 号を起動させようとしている。昨年 12 月に示されたばかりのこの汚染検査場所については、避難住民への説明も、受入れ自治体・住民への説明もされていない。

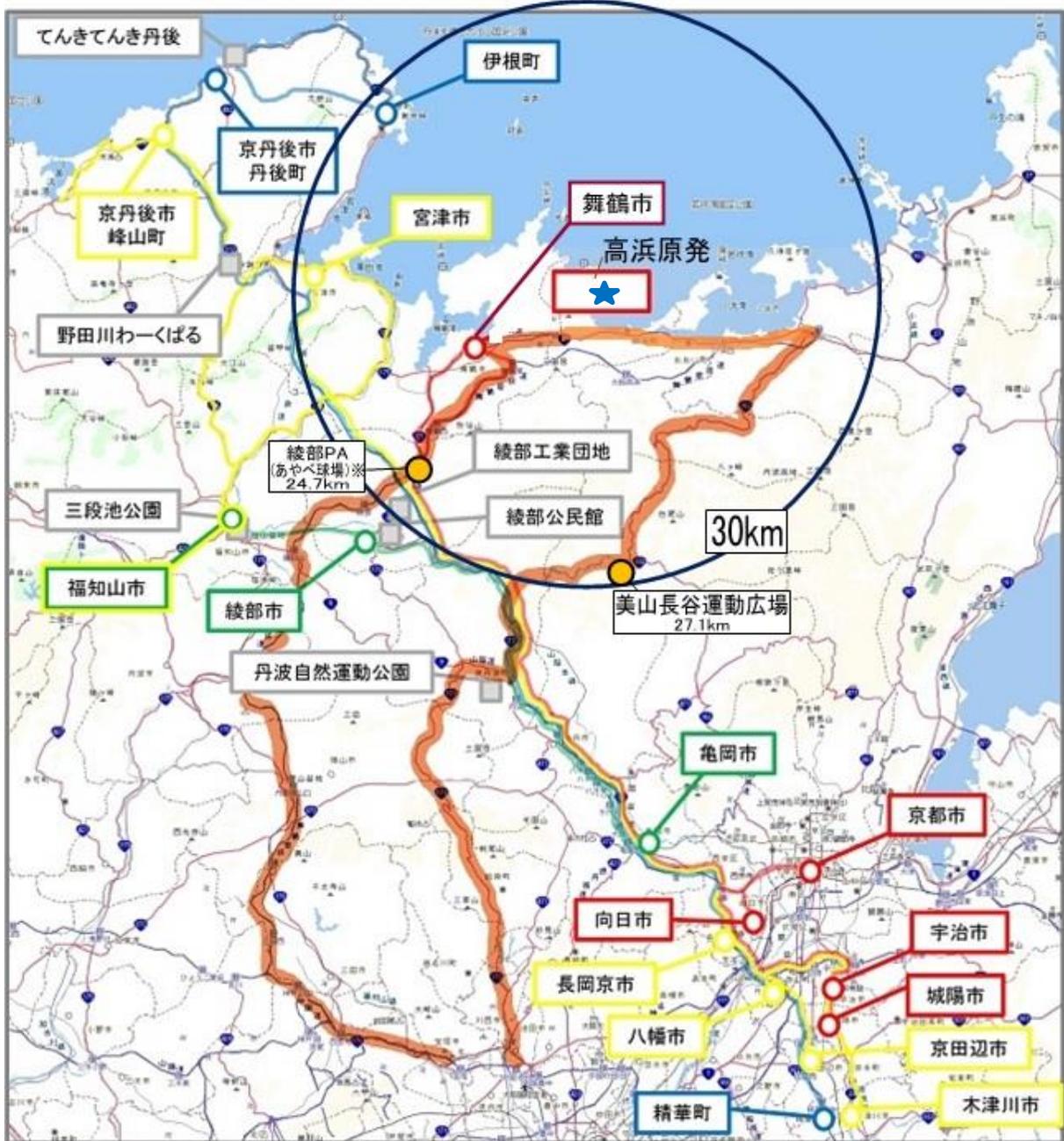
このような場所を汚染検査場所として、避難計画は「具体的で合理的」と表明する国や福井県等の行政は、放射能のプルームが押し寄せる恐怖の中でどれだけの危険を避難者とバス運転手、行政職員に強いるのか。

汚染検査場所として不適であることは明らかなため、この 2 か所の候補地は撤回すべき。汚染検査場所が決まらなければ、避難計画の実効性はまったくないため、高浜原発 3 ・ 4 号の再稼働は中止すべきだ。

2016. 1. 19 避難計画を案ずる関西連絡会

連絡先団体：グリーン・アクション／原発なしで暮らしたい丹波の会／
脱原発はりまアクション／原発防災を考える兵庫の会／美浜の会

新たに設置された汚染検査場所2ヶ所 (●)



京都府が公開している避難経路図に、福井からの避難経路と新たな汚染検査場所2ヶ所を追加作成